




※並び順は左から 立候補表明順			
<b>氏名 (年齢)</b>	<b>君嶋 千佳子氏 (63)</b>	<b>福田 紀彦氏 (41)</b>	<b>秀嶋 善雄氏 (44)</b>
<b>現新別</b>	<b>新</b>	<b>新</b>	<b>新</b>
<b>政党名</b>	<b>無所属</b>	<b>無所属</b>	<b>無所属</b>

<b>Q1・この4年間の阿部市政であなたが評価できる施策を1つあげ、その理由を教えてください。</b>	<p>「公契約条例の制定」(2010年12月議会で成立)です。</p> <p>(理由) 市発注の公共工事及び委託業務に従事する末端労働者の報酬下限額を定めることにより、官製ワーキングプアと呼ばれる事態をなくしていくために、当制度の必要性を感じていました。まだまだ、実効性の問題など改善の余地はありますが、政令市で初ということもあり評価できます。</p>	<p>国際総合戦略特区への取り組み。</p> <p>(理由) わが国の新しい成長産業として生命科学、医療分野に焦点を絞り、神奈川県、横浜市と共同で特区への取り組みを進めてきたことは評価しています。世界への玄関口である羽田空港に隣接し、アジアの一等地である川崎の価値をさらに高めていく必要があります。</p>	<p>行財政改革を成し遂げ、川崎を成長軌道に乗せたこと。</p> <p>(理由) 行財政改革を断行して破たん寸前の川崎市の財政を再建する一方で、武蔵小杉駅や川崎駅周辺の再開発のように、塩漬けの土地も含めて、新たな街づくり・発展に成功するなど、行財政改革と成長という両立し難い政策を政策の両輪として掲げ、成功した点。</p>
---	--	---	---

<b>Q2・この4年間の阿部市政であなたが評価できない(または課題と思われる)施策を1つあげ、その理由を教えてください。</b>	<p>阿部市長が当選して以来、実施してきた4次にわたる「行財政改革」の実施。</p> <p>(理由) 革新市政時代に市民運動で勝ち取ってきた、数々の豊かな福祉施策を次々と削減・廃止してきたからです。とりわけ、「行革」の矛先が、子ども・障がい者・高齢者など弱者に集中していたことが特徴で、市民の暮らしは極めて困難にさせられました。またこれは「住民福祉の増進」という自治体の役割に反するものです。</p>	<p>国の政策に沿って補助事業を多用したため、川崎の特性にあった市独自の政策が生まれず、市の職員の意欲も削がれてしまったことは中長期的にも大きな損失。</p>	<p>急速な成長の中で、子育て世代にしわ寄せがいつていること。</p> <p>(理由) 川崎市の人口が急増する中で、保育所の整備が就学前児童数に追いつかない、プレハブ教室を強いられている地域が出る等、主に子育て世代にそのしわ寄せがいつており、若い世代の多い川崎市にとって、喫緊の課題となっている。</p>
--	--	---	--

<b>Q3・川崎縦貫高速鉄道(地下鉄)、川崎縦貫道路の今後の考え方について、あなたの考えを教えてください。</b>	<p>地下鉄事業は、市の財政状況を見極めながら検討します。高速川崎縦貫道路は1メートル1億円の工事費がかかり、車がほとんど走らないなどムダな大規模事業の典型です。着工時2500億円とされた総事業費は2013年度までで6284億円(市負担分641億円)にのぼっています。環境破壊にもつながることから、直ちに計画を中止します。</p>	<p>小杉-新百合ヶ丘間の地下鉄については、前回の市長選挙の際に実現不可能と主張しましたが、結果その通りとなりました。いたづらに判断を遅らせたことによって、市の交通体系全体が遅れました。縦貫道路については、多摩川を挟んだ外環道との計画の一本化をはかり、首都圏全体のネットワークを完成させるべきと考えます。</p>	<p>川崎縦貫高速鉄道(地下鉄)については、阿部市政12年間で様々な議論を積み重ねてきた経緯があり、会計閉鎖に至った現阿部市長の判断が考え方のベースになるものとする。また、川崎縦貫道路は、首都圏の高速道路体系全体も踏まえて検討すべきものとする。</p>
---	---	--	--

<b>Q4・あなたは、川崎市が神奈川県からの独立を目指す「新たな大都市制度」(特別自治市)の創設に賛成ですか、反対ですか?</b>	<b>反対</b>	<b>反対</b>	<b>賛成</b>
	<p>神奈川県から独立するといっても、県が果たしている広域的役割を川崎市が担えるものではありません。また、保育園の設置基準など基準緩和を目的にしていることも問題です。道州制を前提にしているのも、住民と地域に身近な自治体を壊すことにつながるから、賛成できません。以上の理由から反対です。</p>	<p>県からの権限、財源移譲は賛成ですが、県からの独立は、国のあり方として多くの課題があります。私は近い将来、道州制に移行すべきだと考えますが、その際に合わせて基礎自治体の再編を考える必要があります。川崎や横浜だけ県から独立というパッチワーク的な発想ではあってはならないと考えます。</p>	<p>ただし「神奈川県からの独立を目指す」という表現は適切ではない。大都市制度のあり方として、指定都市制度を拡充するという方向性については異論ない。</p>

<b>Q5・あなたが市長に当選した際、最初に取り組む施策を教えてください。</b>	<p>阿部市政の12年間で削減された福祉施策を復活します。さらに、認可保育園の増設や中学校給食を自校方式で実施するなど子育て支援策の充実、特別養護老人ホーム増設など高齢者施策の充実で地域経済の活性化と雇用拡大を実現します。</p>	<p>まず待機児童対策と、中学校給食のスタートに向けた体制です。認可保育所の整備だけでは、いくら税金があっても足りませんし、待機児童の解消に時間がかかります。そこで、既存の認可外保育の質を担保しながら、補助を拡充して保護者負担を軽減し、地域の保育資源を活用して待機児童の解消をはかります。</p>	<p>「子育てしやすさ日本一の街・川崎」を掲げており、保育サービスの拡充、病児保育、病後児保育をはじめとする多様な保育の実施、更によりきめ細かな教育を行い、幼児教育を含む教育全般の底上げを図る。また、臨海部を中心としたライフイノベーション、グリーンイノベーションにも国や県、横浜市と連携し、国家戦略特区の指定等に早急に取り組みたい。</p>
---	---	--	--




<b>Q6・あなたの市政運営にあたっての心構え、基本姿勢を教えてください。</b>	<p>税金の使い方を、不要不急の大規模事業をやめ、福祉・くらし型投資中心に転換することで、地元中小企業の仕事を増やして地域経済を元気にする「好循環サイクル」を軌道に乗せて、市民要求を実現していきます。「住民の福祉の増進」という自治体本来の役割をしっかりと果たす市政運営を行ないます。</p>	<p>よい街をつくっていくために、役所の会議室ではなく、街の中に出て、市民の皆さんと常に対話を繰り返す基本姿勢。市職員と気持ちを一つにして市民に奉仕するという意識。そして、問題を先送りしない決断とリーダーシップを持って市政に取り組みます。</p>	<p>「市民成長力日本一。」を掲げており、市民・企業等関係する皆さんの底力を結集し、市民一人一人の力を最大限に発揮させ、市政の発展に努めたい。そのため、市民自治を拡充し、市内分権を進めていくとともに、ためまない行財政改革の断行により、必要な財源をねん出していく。</p>
---	---	---	---

<b>Q7・あなたが考える川崎市の最も大きな課題とそれに対する施策を教えてください。</b>	<p>かつて「子育てするなら川崎」「高齢になっても住み続けたいまち川崎」といわれた川崎が、いまは、子育ても老後も不安いっばいの川崎へと後退させられたこと、これが川崎市のいまの大問題であり、これを解決することが最も急ぐべき課題であると考えます。</p>	<p>高齢化です。全国から見れば若い都市である一方で、超高齢化する地域も出てきます。そのために行政を中心に多様な主体が緊密に連携する必要があります。また大胆な土地利用政策も含めて考えていく必要があります。</p>	<p>現下の川崎市の発展の目標をどのように設定するのか、さらに、国全体が2020年オリンピック・パラリンピックの開催に向けて上げ潮の機運の中で川崎市をいかに発展させることができるかを問う選挙。同時に国の成長戦略とも連動した政策を有権者に強く訴えていきたい。</p>
--	---	--	--

<b>Q8・あなたが市長選で有権者に訴える最重点政策を教えてください。</b>	<p>①安心して子育てができる川崎 ②高齢者も障がい者も安心して暮らせる川崎に ③地域経済の活性化で元気な川崎を ④仕事と雇用が増える川崎を ⑤原発ゼロ、災害に強い川崎に ⑥憲法を活かす川崎を ⑦船の来ない港への100億円の投資など不要不急の大規模事業を見直します。</p>	<p>教育こそ、日本一の川崎にするため、習熟度別クラスの導入で“わかる”授業と伸ばす才能を両立させます。中学校給食をスタートさせます。待機児童を一年でゼロにします。シニア世代の「有償ボランティア制度」で定年なしの生涯現役。無料インターネット環境が最も進んだ都市へ、「市内まるごとWiFi化計画」。</p>	<p>Q7と同様、川崎市の急成長の中で課題の残る子育て支援の分野の拡充と併せて、国全体が上げ潮の機運の中で国の成長戦略と密接に連動した政策実現の可能性を有権者に訴えていきたい。</p>
---	---	--	--

<b>Q9・あなたが川崎市内で最も好きなスポットを教えてください。</b>	<p>生田緑地、特に民家園が好きです。古い建物の中で昔の生活を想い浮かべるのは楽しいです。</p>	<p>多摩川。多摩川の河川敷です。子どもの頃、汚いイメージだった多摩川がきれいになって本当に嬉しい。子ども達には、もっと触れ合って欲しいですし、ふるさと川崎の母なる川として誇りに感じて欲しい。</p>	<p>北部地域に点在する里山のエリア。例えば、黒川地区の心休まる風景。産業都市川崎とのイメージギャップも魅力だ。大いにPRしたいところだが、あまり人が増えてもせっかくの良さが失われかねないので、その加減が難しいと思う。</p>
---------------------------------------	---	--	---

<b>Q10・あなたのストレス解消法を教えてください。</b>	<p>ストレスをそんなに意識していませんが、体を動かすとリラックスできます。スポーツが好きで、今はテニスを少し。でも、なかなか上手にはなりません。</p>	<p>料理。あまりいませんが、自宅にいるときは、朝・昼・夜食問わず100%、私が作ります。友人や仕事の仲間とワイワイ飲みに行くのもストレス解消の一つです。</p>	<p>2人の娘と一緒に過ごすこと。子供が出来てから、なるべく休日等休めるときは子供といっしょに過ごすよう心掛けてきた。ただし、いつまで娘から相手にしてもらえないか今の最大の心配事の一つ。</p>
---------------------------------	---	---	---

			
<b>氏名 (年齢)</b>	<b>君嶋 千佳子氏 (63)</b>	<b>福田 紀彦氏 (41)</b>	<b>秀嶋 善雄氏 (44)</b>
<b>現新別</b>	<b>新</b>	<b>新</b>	<b>新</b>
<b>政党名</b>	<b>無所属</b>	<b>無所属</b>	<b>無所属</b>